

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル（科目名） こどもと自然	授業の種類 (講義・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 柳田 真理子	当該科目に関する実務経験 保育士
授業の回数 30回	時間数（単位数） 60時間（2単位）	配当学年・時期 1年後期・2年前期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ・ 乳幼児期には日常的に自然に触れ合うことが重要であるということを踏まえ、四季折々の活動を通して現場での実践力を身につける。 [授業全体の内容の概要] ・ 主に校外での活動を行い、自然と触れ合う中で、乳幼児期の自然との関わりの重要性やそれに伴った活動の計画、援助の仕方などを知る。 [授業終了時の達成課題（到達目標）] ・ 様々な体験を通して、保育者としての感受性を豊かにする ・ 自然の摂理や生命の尊さを理解し、植物の栽培に取り組み、保育現場で生かせる技術を修得する。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] < 1 年後期 > 1. 子どもと自然をむすぶために自然事象「雪・霰・曇・雹」 ・ 自然の中の循環を理解する（種子散布など） 2. 野菜を育てよう！① ・ 野菜の基礎知識～特徴や栽培の留意点など～ 3. 野菜を育てよう！② ・ 秋冬野菜の育て方 4. 色々な自然の話 ・ 自然の中の約束や付き合い方 5. 自然の「かかり」をしる ・ 自然のかかりの仕事って？（3つの仕事を知ろう！）・悪い虫？良い虫？ 6. サツマイモ収穫（収穫の際の注意・収穫後） 7. 秋の味覚を楽しむ（～素材の味でサツマイモを食す～） 8. 自然事象「虹のメカニズム」（12月2日） 9. 自然事象「雷の発生のメカニズム」 10. 自然事象「影ってどうして追いかけてくるの？」 11. 自然事象「雪・霰・曇・雹の違いとは」 12. 冬の自然と戸外遊び 13. 自然の中の保育① 14. 自然の中の保育② 15. 論文：こどもと自然経験（テスト）			

< 2 年前期 >

1. 散歩（お花見）
2. 野菜を育てよう① 野菜の育て方や苗植えのポイントを知る
3. 野菜を育てよう② ジャガイモの苗を植える
4. 
5. } 自然体験（校外授業）
6. }
7. }
8. 野菜を育てよう③ ジャガイモの成長を観察する
9. 野菜を育てよう④ //
10. 梅雨時期の自然を知ろう① 梅雨時期の生き物と植物
11. 梅雨時期の自然を知ろう② 梅雨時期の室内遊び
12. 水遊び 色水あそび
13. 野菜を育てよう⑤ ジャガイモの収穫
14. 野菜を育てよう⑥ 収穫したジャガイモでクッキング
15. 期末試験

[使用テキスト・参考文献]

- ・適宜プリントを配布する

[成績評価の方法と基準]

教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。

- ・ 考査点 (75%)
 - ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記及び実技試験により期末考査を実施する。
- ・ 平常点 (25%)
 - ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。
 - ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。